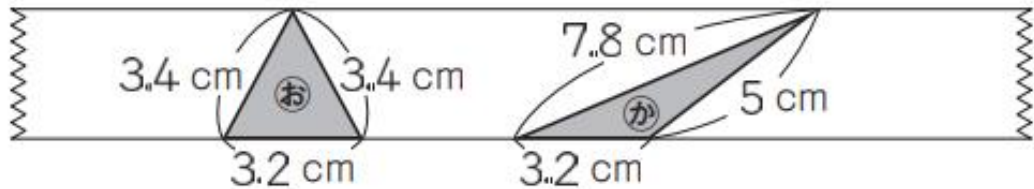




この問題解けるかな？
全国の小学生が
挑んだ問題です！

えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような①と②の2つの三角形をつくります。



上の①と②の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。
下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- ①の面積のほうが大きい。
- ②の面積のほうが大きい。
- ①と②の面積は等しい。
- ①と②の面積は、このままでは比べることができない。

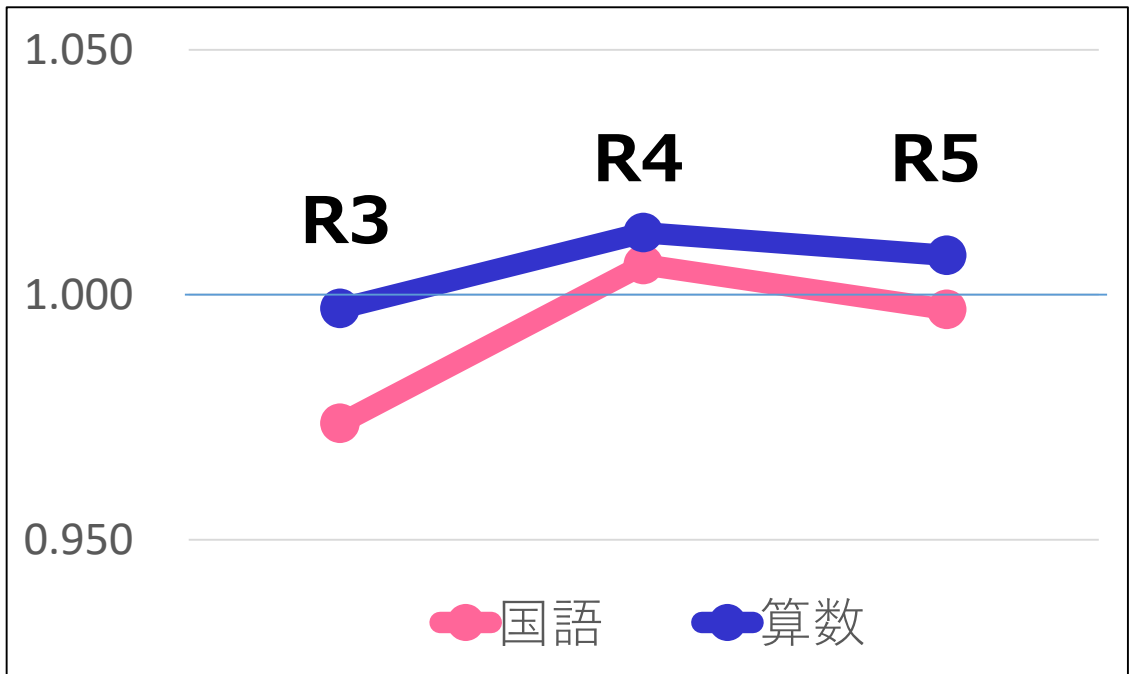
答えは最後の
ページにあるよ



平均正答率

小学校	枚方市	大阪府	全国
国語	67	66	67.2
算数	63	62	62.5

結果の推移
(対全国比)

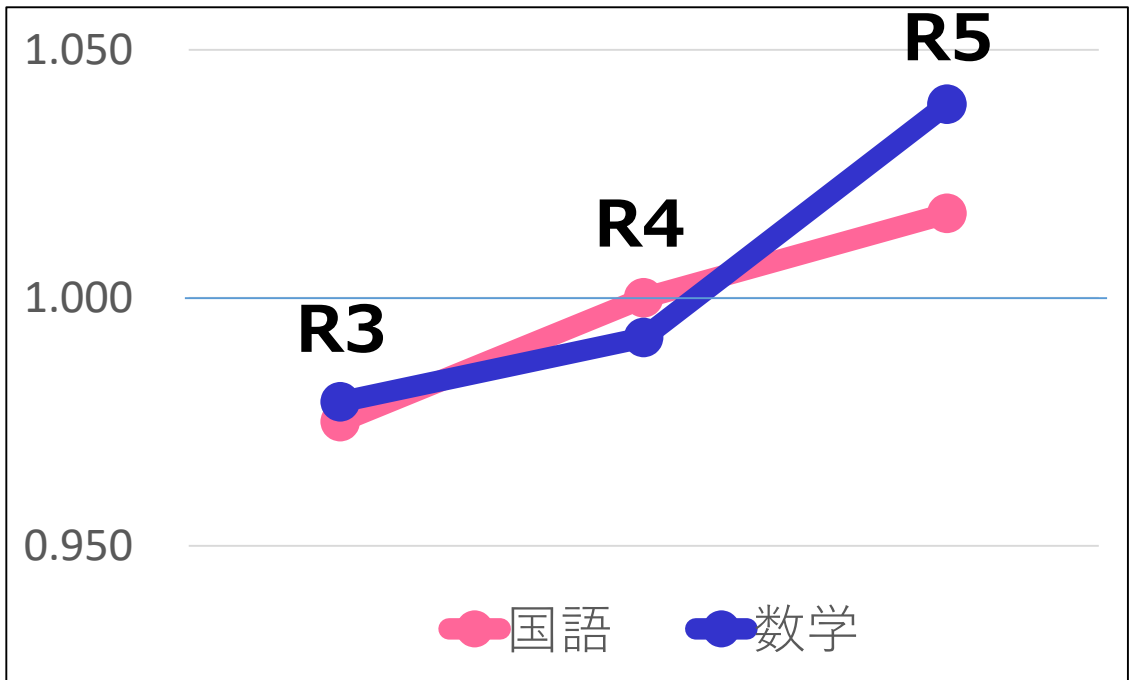


小学校について、
国語は全国平均とほぼ同じです。
算数は全国平均とほぼ同じです。

平均正答率

中学校	枚方市	大阪府	全国
国語	71	68	69.8
数学	53	50	51.0
英語	48	45	45.6

結果の推移
(対全国比)

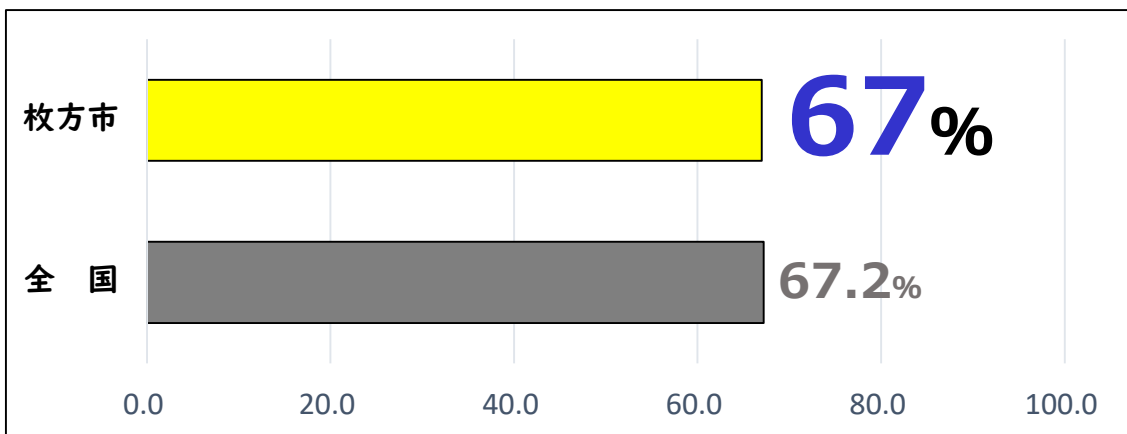


中学校について、
国語、数学、英語
いずれも全国平均を上回っています。

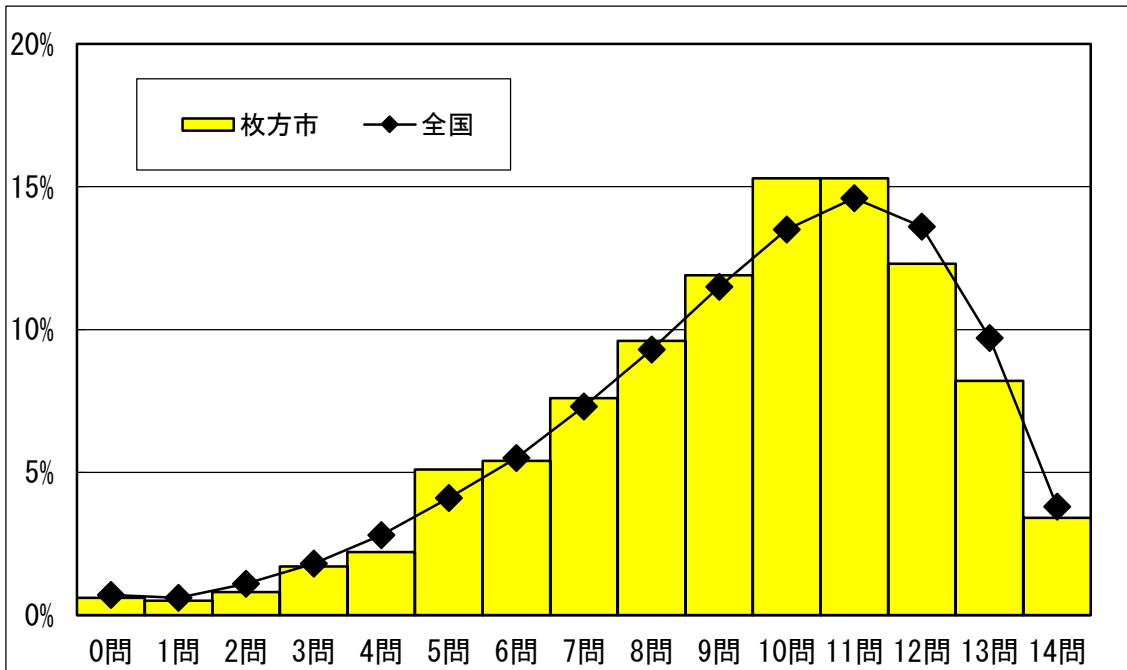
※英語の調査は3年に1度程度の実施

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果<小学校 国語>

正答率



正答数分布

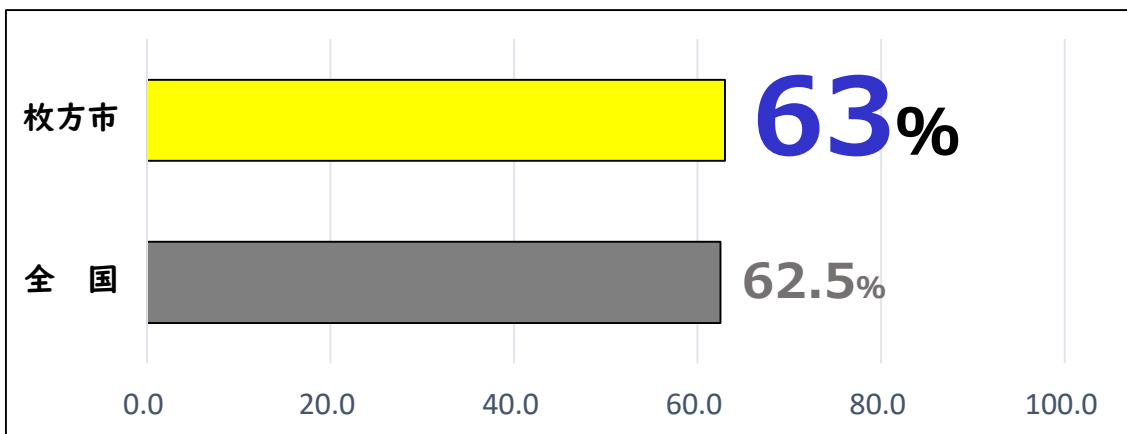


分類・区別 集計結果

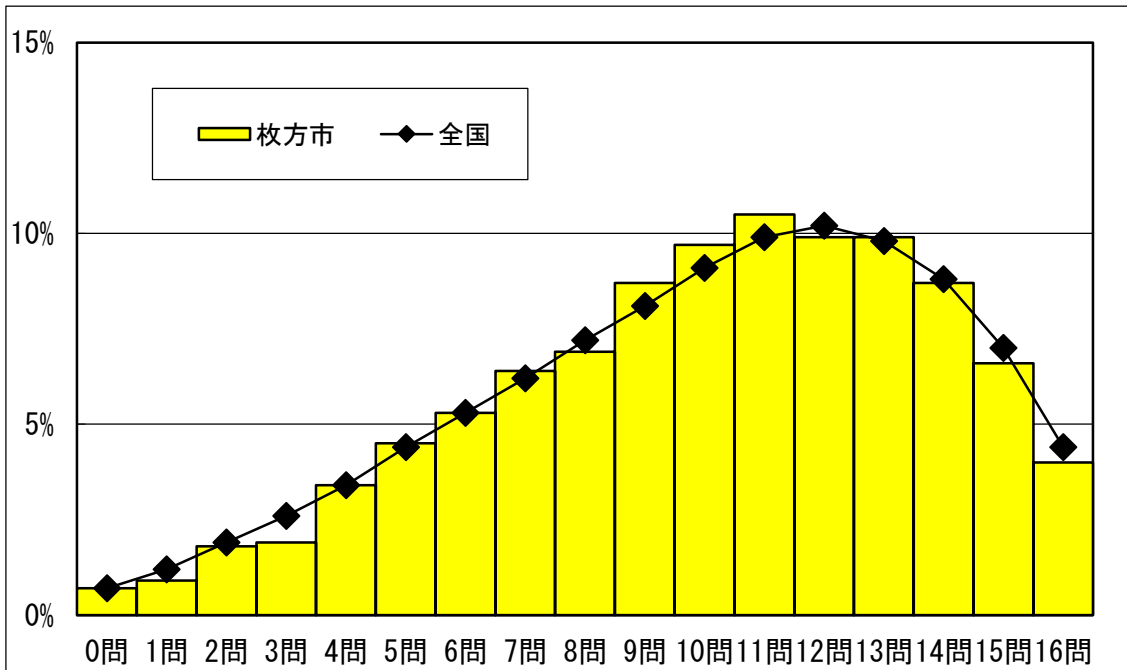
分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)		
			枚方市	全国	
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	72.0	71.2	
		(2) 情報の扱い方に関する事項	64.4	63.4	
		(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	思考力、判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	70.1	72.6
		B 書くこと	1	25.3	26.7
		C 読むこと	3	69.9	71.2
評価の観点	知識・技能	7	69.8	68.9	
	思考・判断・表現	7	63.6	65.5	
問題形式	選択式	9	73.5	73.6	
	短答式	2	63.9	62.7	
	記述式	3	48.4	51.1	

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果<小学校 算数>

正答率



正答数分布

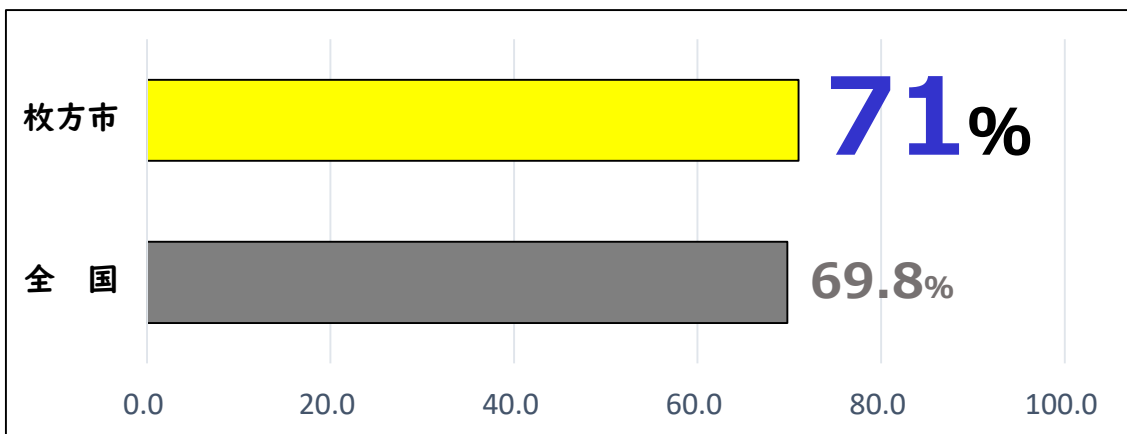


分類・区分別 集計結果

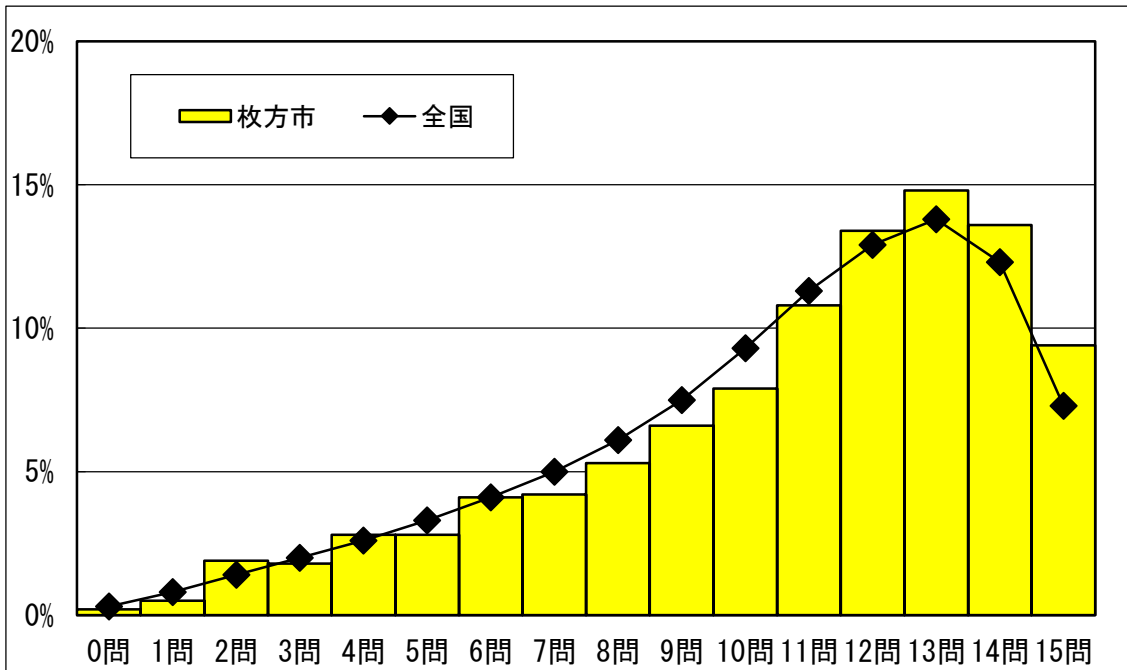
分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
			枚方市	全国
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	67.2	67.3
	B 図形	4	48.7	48.2
	C 測定	0		
	C 変化と関係	4	72.3	70.9
	D データの活用	3	64.0	65.5
評価の観点	知識・技能	9	67.7	67.2
	思考・判断・表現	7	56.1	56.5
問題形式	選択式	5	57.3	57.7
	短答式	7	75.7	74.7
	記述式	4	46.5	47.3

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果<中学校 国語>

正答率



正答数分布

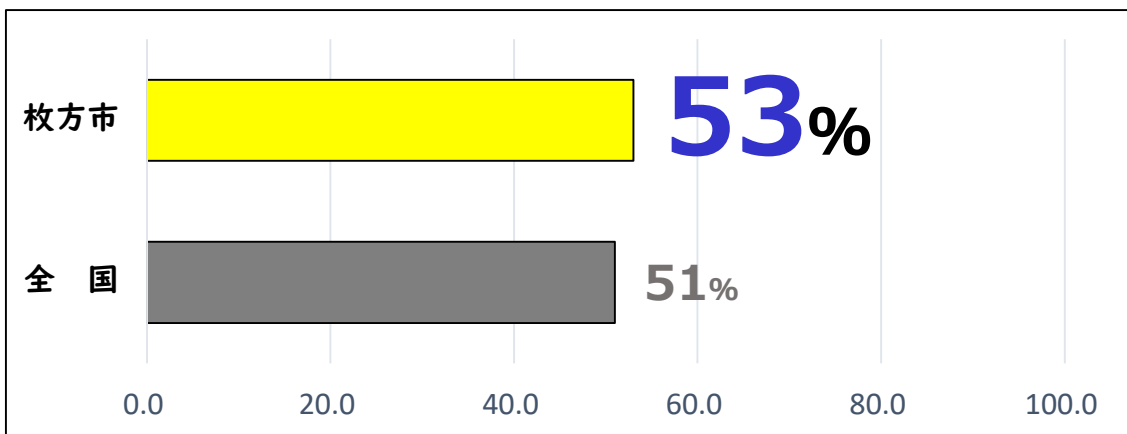


分類・区分別 集計結果

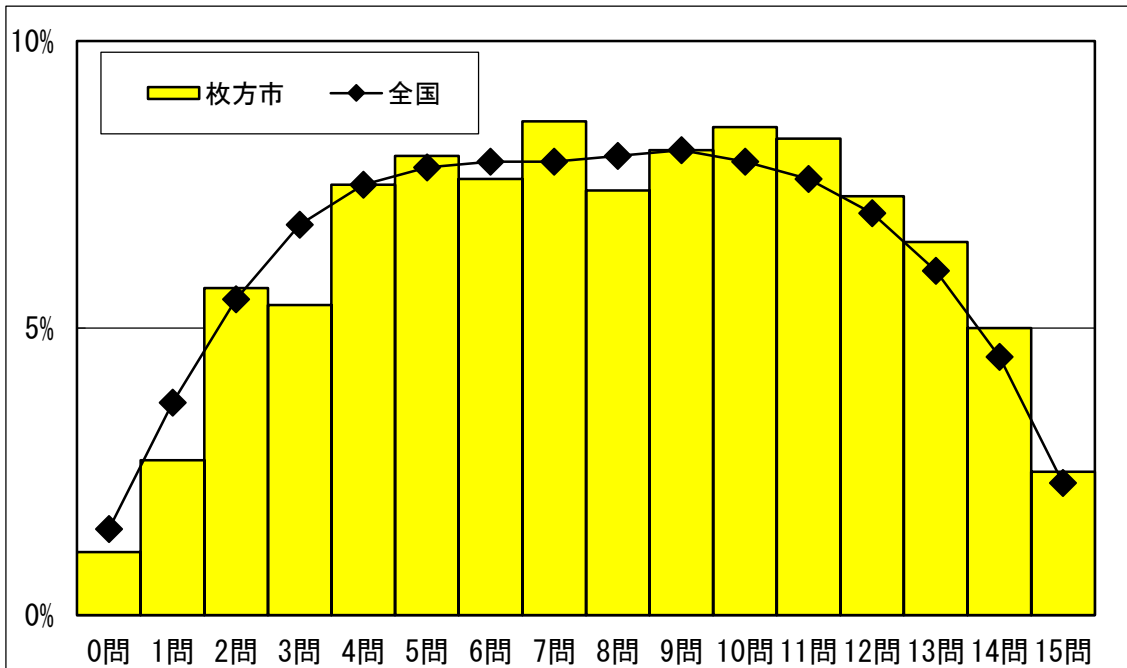
分類	区分	対象 問題数	平均正答率 (%)	
			枚方市	全国
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	73.4	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	65.5	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	73.3	74.7
	思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	83.1	82.2
		B 書くこと	66.3	63.2
		C 読むこと	64.9	63.7
評価の観点	知識・技能	7	71.1	69.4
	思考・判断・表現	9	71.3	69.7
問題形式	選択式	7	74.8	73.1
	短答式	4	67.9	65.6
	記述式	4	69.1	68.0

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果<中学校 数学>

正答率



正答数分布

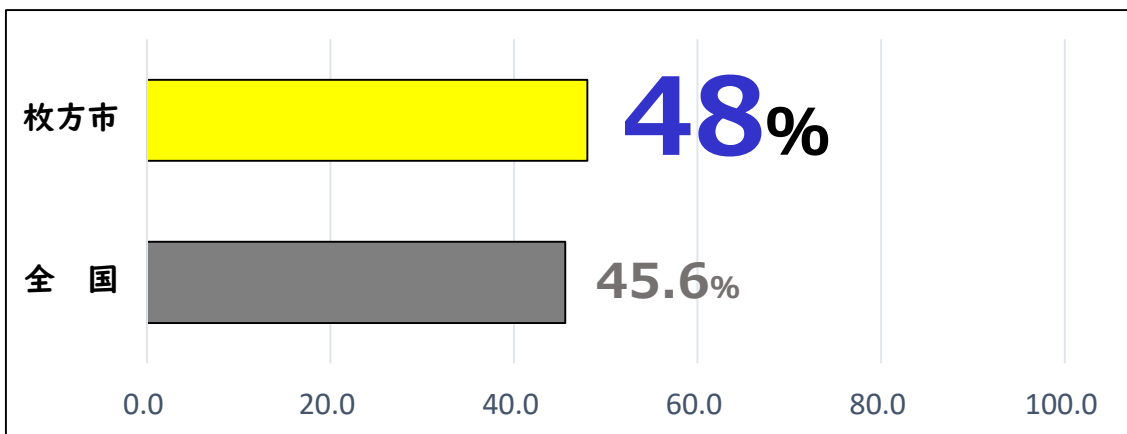


分類・区分別 集計結果

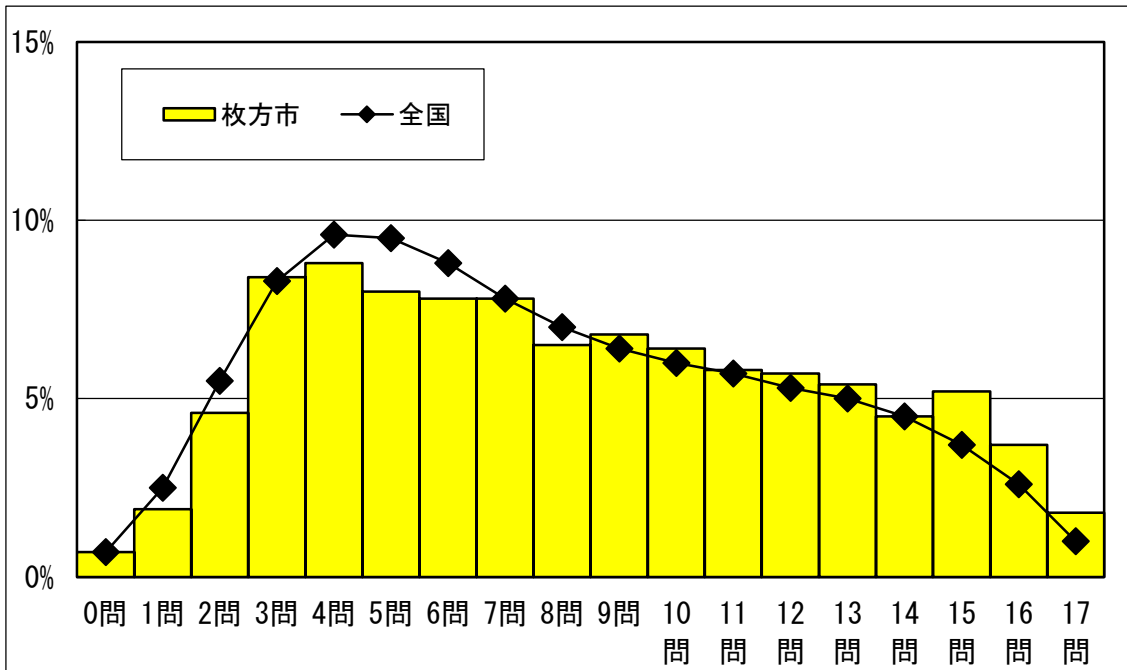
分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
			枚方市	全国
学習指導要領の領域	A 数と式	5	66.0	63.0
	B 図形	3	34.4	33.2
	C 関数	4	52.1	51.2
	D データの活用	3	50.3	48.5
評価の観点	知識・技能	10	58.1	55.7
	思考・判断・表現	5	42.3	41.6
問題形式	選択式	4	47.9	45.3
	短答式	6	64.9	62.6
	記述式	5	42.3	41.6

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果 < 中学校 英語 >

正答率



正答数分布



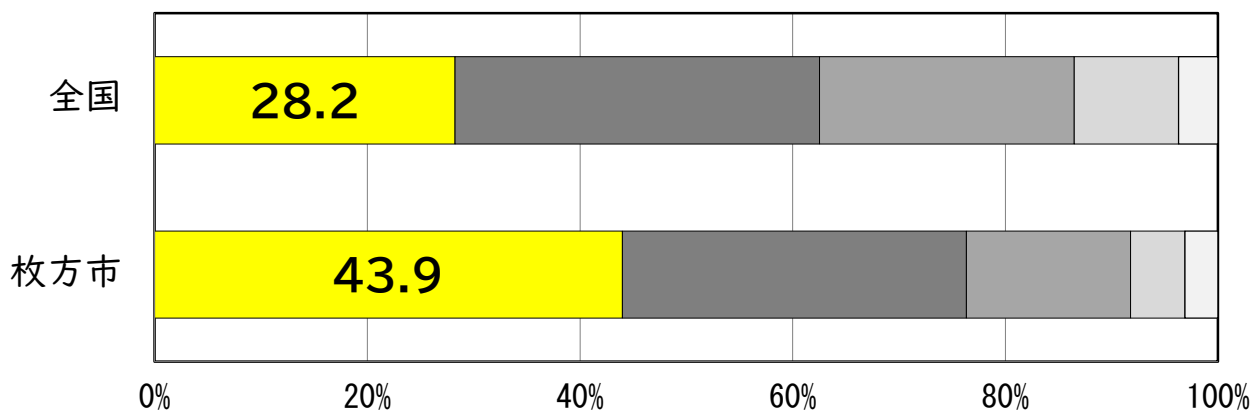
分類・区分別 集計結果

分類	区分	対象 問題数	平均正答率 (%)	
			枚方市	全国
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	61.0	58.4
	(2) 読むこと	6	52.9	51.2
	(3) 話すこと [やり取り]	0		
	(4) 話すこと [発表]	0		
	(5) 書くこと	5	28.2	23.4
評価の観点	知識・技能	9	54.7	51.5
	思考・判断・表現	8	41.5	38.8
問題形式	選択式	12	56.9	54.8
	短答式	3	35.1	30.1
	記述式	2	17.9	13.5

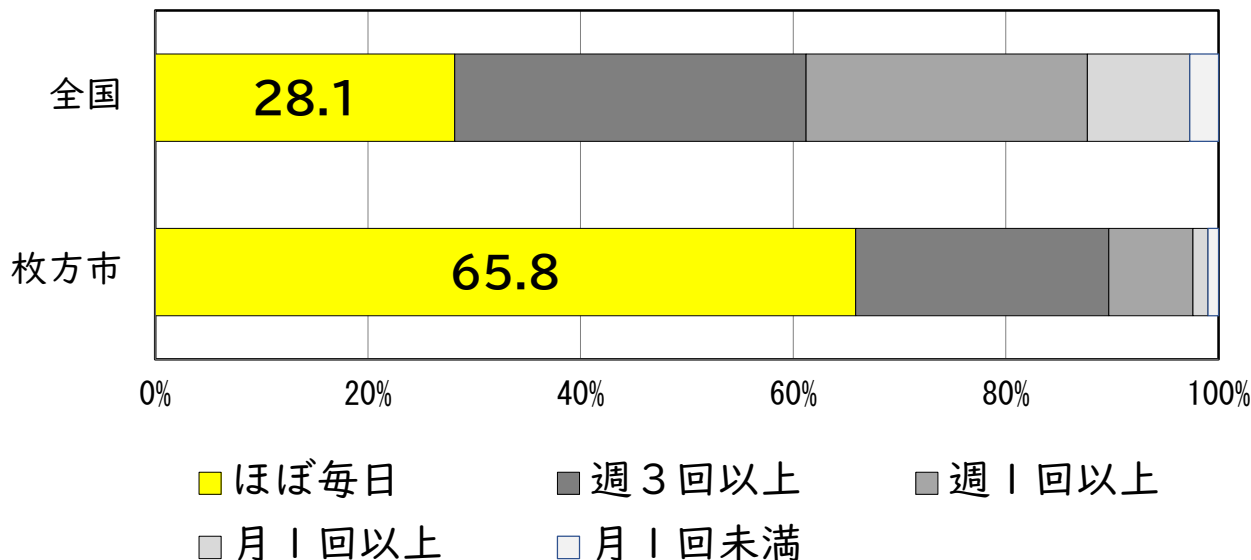
枚方市はICT機器の活用、情報活用能力の育成が充実しています

5年生（小学校）または1、2年生（中学校）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか（児童生徒の回答）

小学校



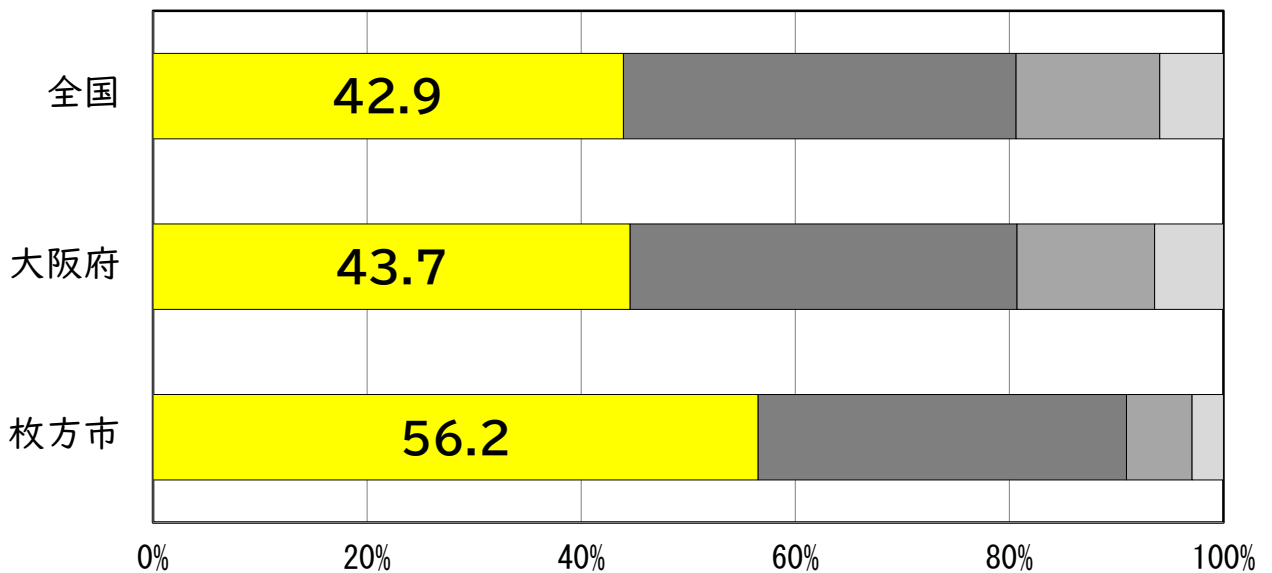
中学校



「ほぼ毎日」対全国との比較
 小学校+15.7P
 中学校+37.7P
 全国を大きく上回っています。

枚方市は中学校英語において、スピーチやプレゼンテーションを行う授業が充実しています

(中学校) 1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか
(生徒の回答)



- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

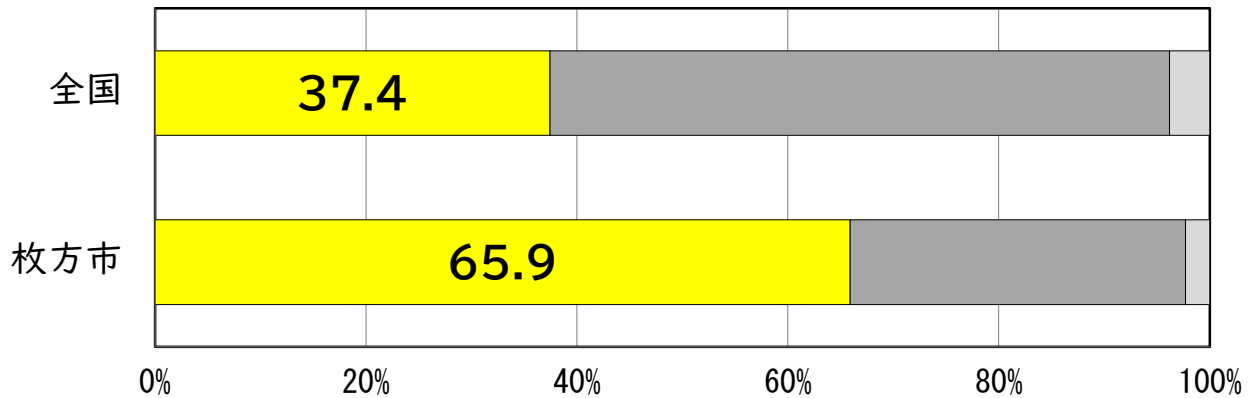
「当てはまる」対全国との比較
+13.3P

全国を大きく上回っています。

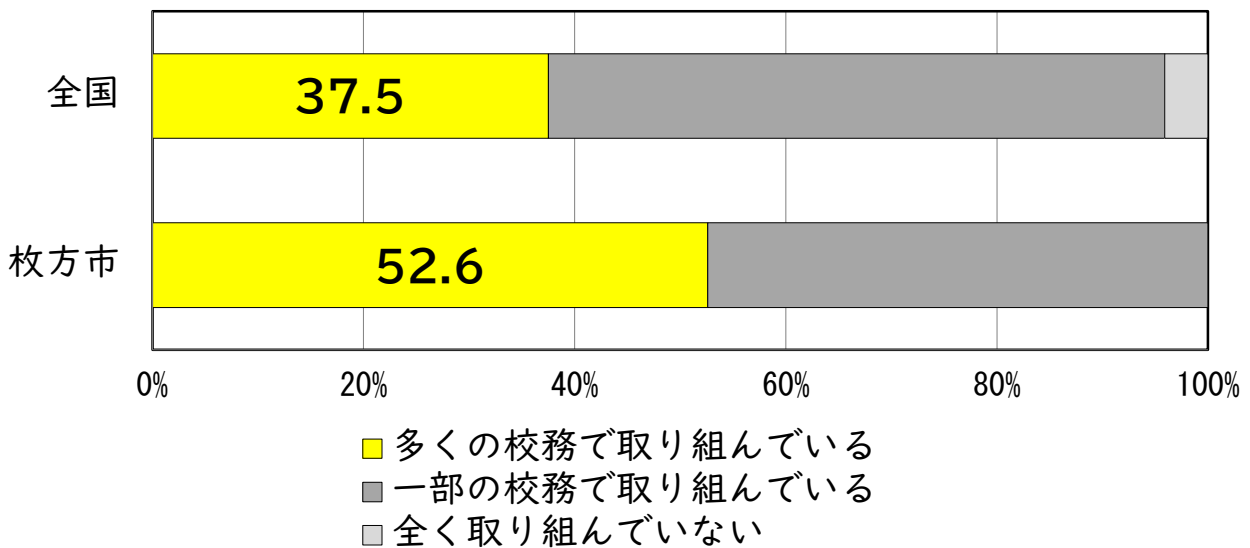
枚方市はペーパーレス会議、保護者への連絡のオンライン化が進んでいます

ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化（クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等）に取り組んでいますか（教員の回答）

小学校



中学校

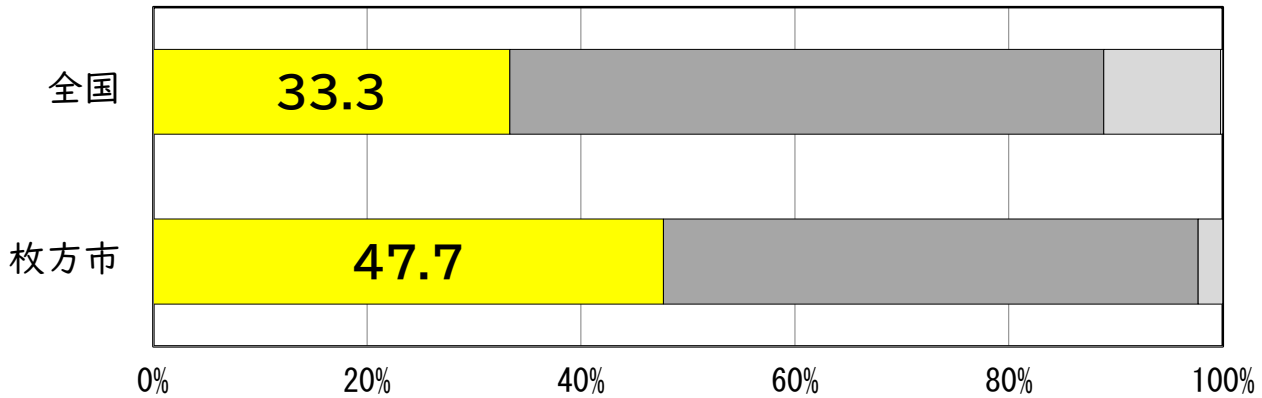


「多くの校務で取り組んでいる」対全国との比較
 小学校 +28.5P
 中学校 +15.1P
 全国を大きく上回っています。

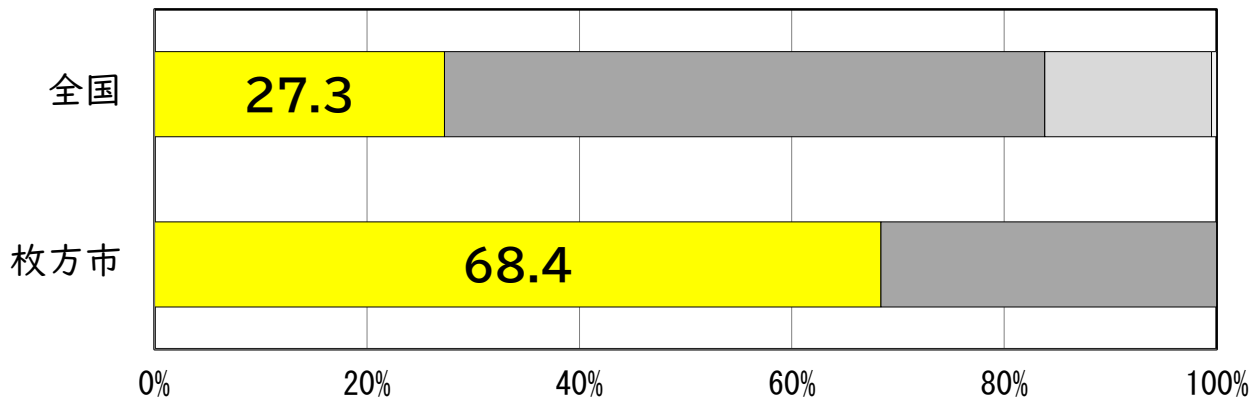
枚方市は研修の充実により授業の質を高める努力を続けています

児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか（教員の回答）

小学校



中学校

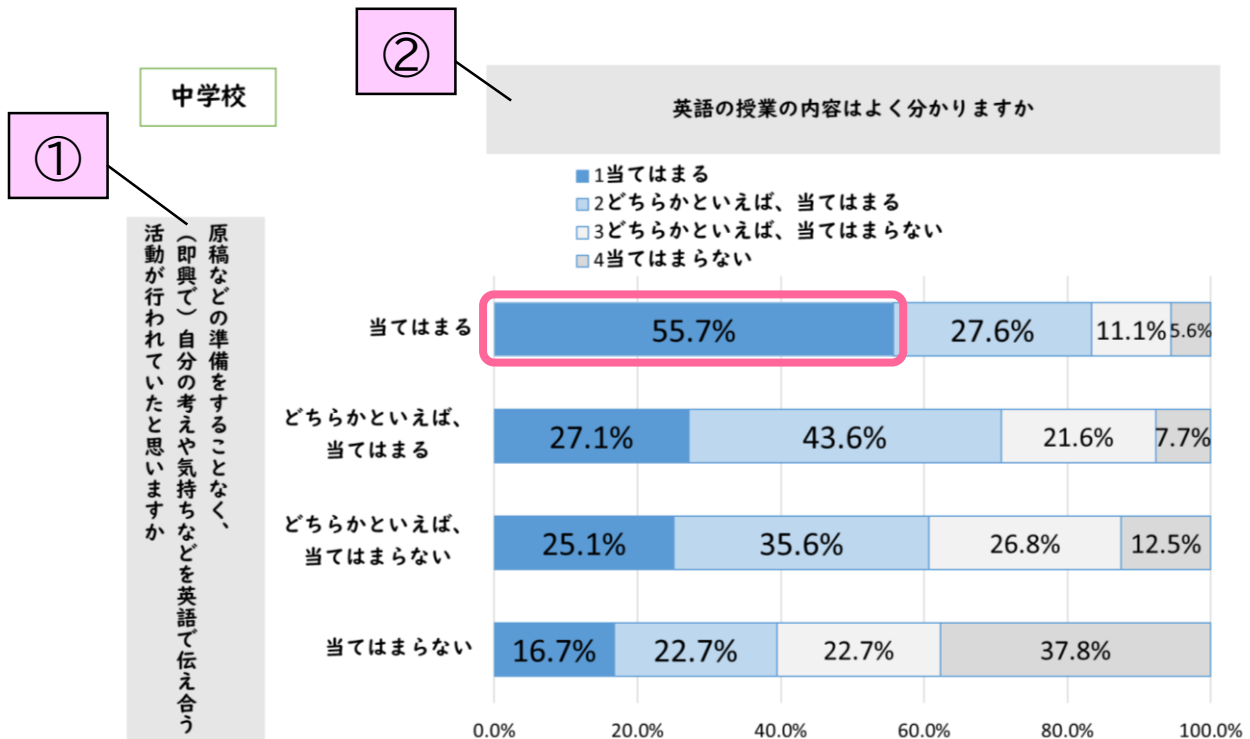


- よくしている
- どちらかといえば、している
- あまりしていない
- 全くしていない

「よくしている」対全国との比較
 小学校 +14.4P
 中学校 +41.1P
 全国を大きく上回っています。

クロス集計とは、アンケート結果などのデータを集計する時に、2つ以上の観点でまとめる統計手法のことです。

ここからは、設問と設問のクロス集計を行い、設問間の関連を分析しました。



【見方】

赤い□で囲んだ部分は、①の設問について「当てはまる」と回答した生徒の内、②の設問で「当てはまる」と回答した生徒の割合を表しています。

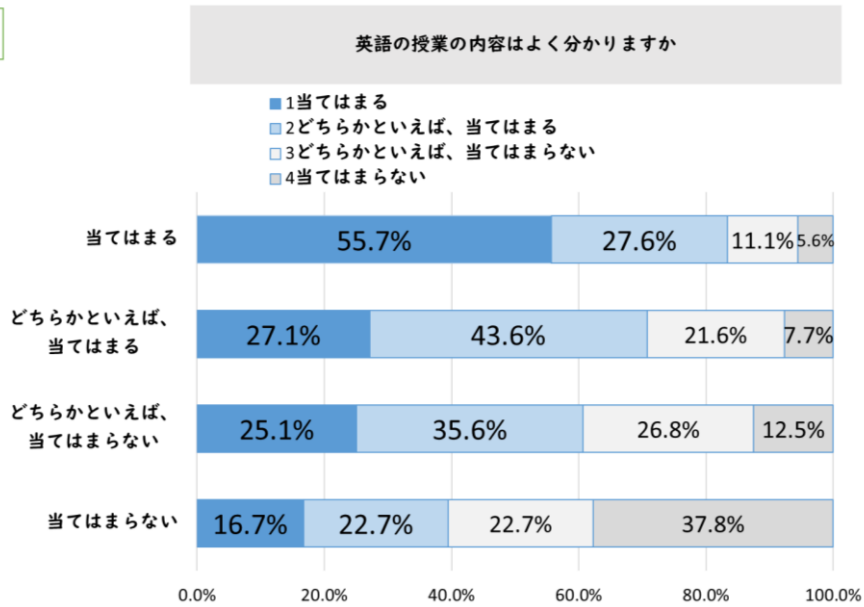


「話すこと(やり取り)」の言語活動×[英語の授業の内容はよく分かる]

生徒の回答

中学校

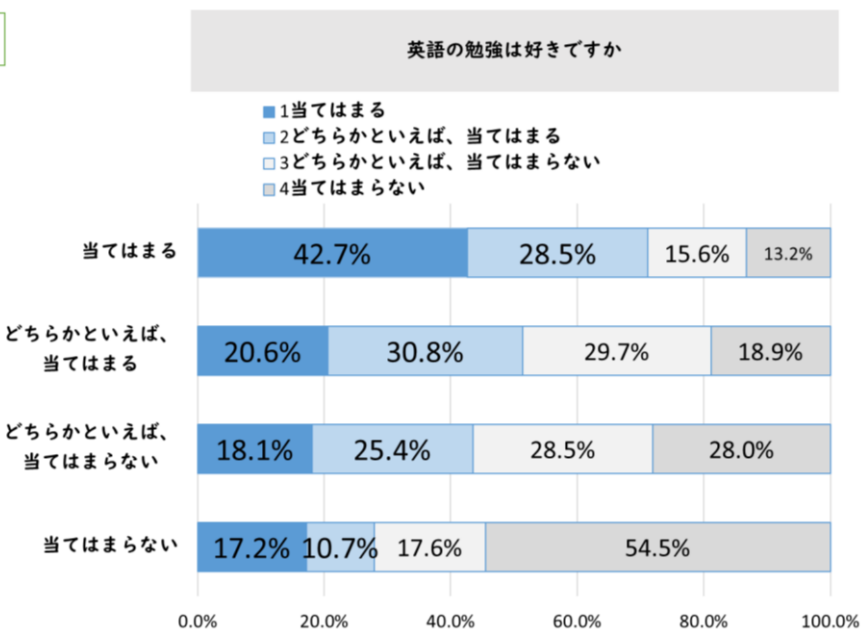
原稿などの準備をすることなく、
(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う
活動が行われていたと思いますか



「話すこと(やり取り)」の言語活動×[英語の勉強は好き]

中学校

原稿などの準備をすることなく、
(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う
活動が行われていたと思いますか



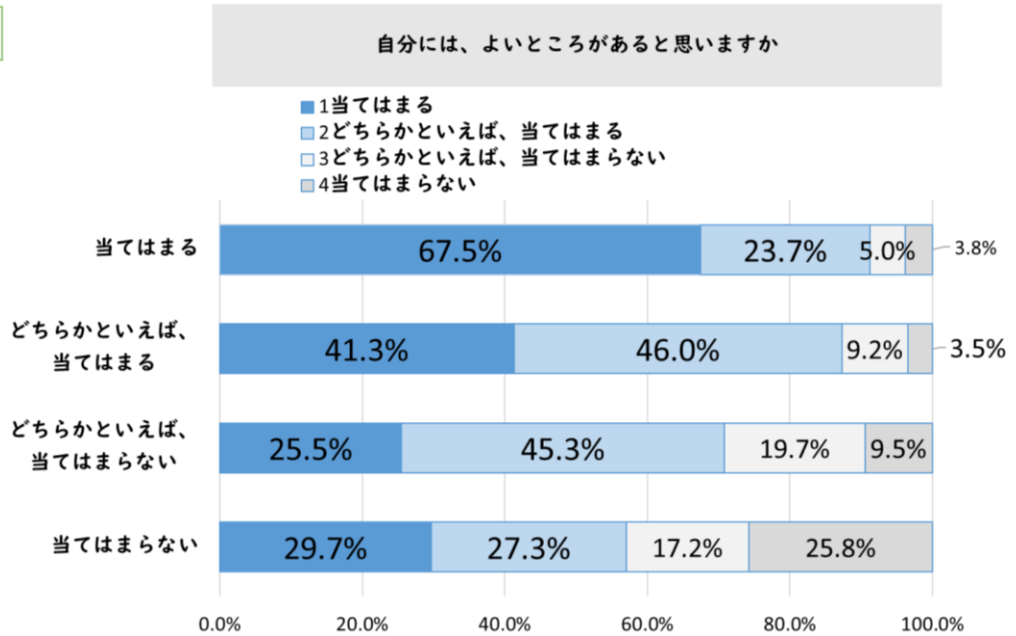
言語活動に取り組んでいたと受け止めている中学校生徒ほど、「英語の授業の内容はよく分かる」「英語の勉強は好き」と回答している傾向が見られます。

[課題の解決に向けて自分から取り組んだ]×[自分にはよいところがあると思う]

児童生徒の回答

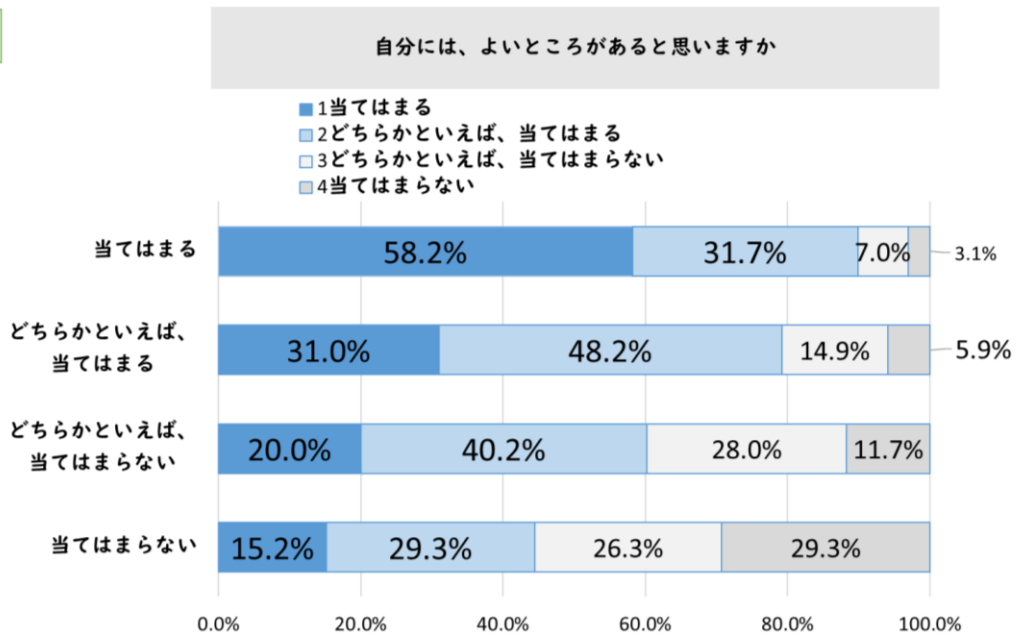
小学校

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



中学校

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



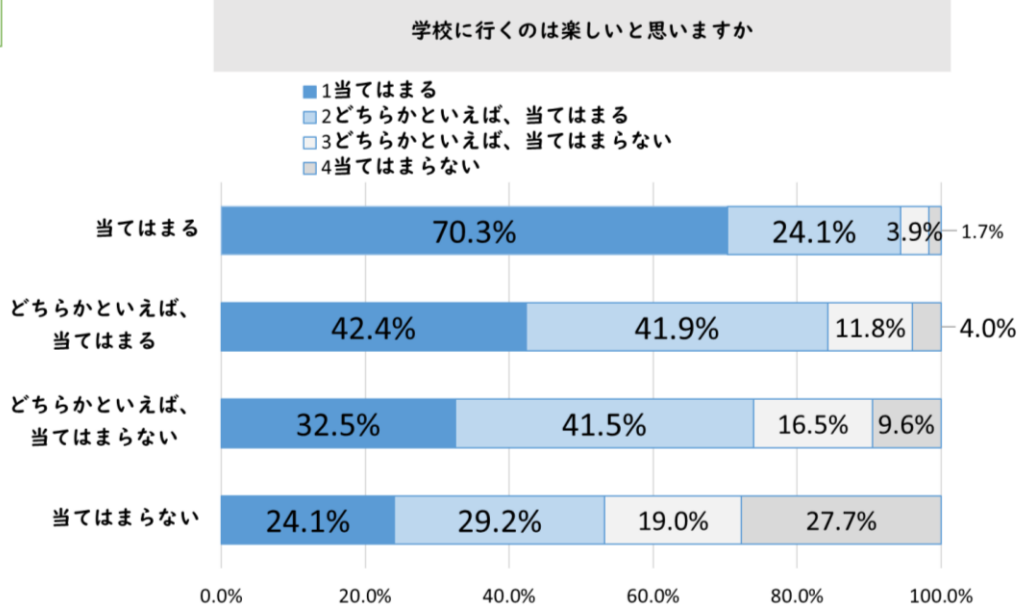
「課題の解決に向けて自分から取り組んだ」に関する設問と「自分にはよいところがあると思う」に関する設問との間には相関が見られます。主体的・対話的で深い学びが、児童生徒の自己有用感等に良い影響を与えていると捉えています。

[自分にあった授業]×[学校に行くのが楽しい]

児童生徒の回答

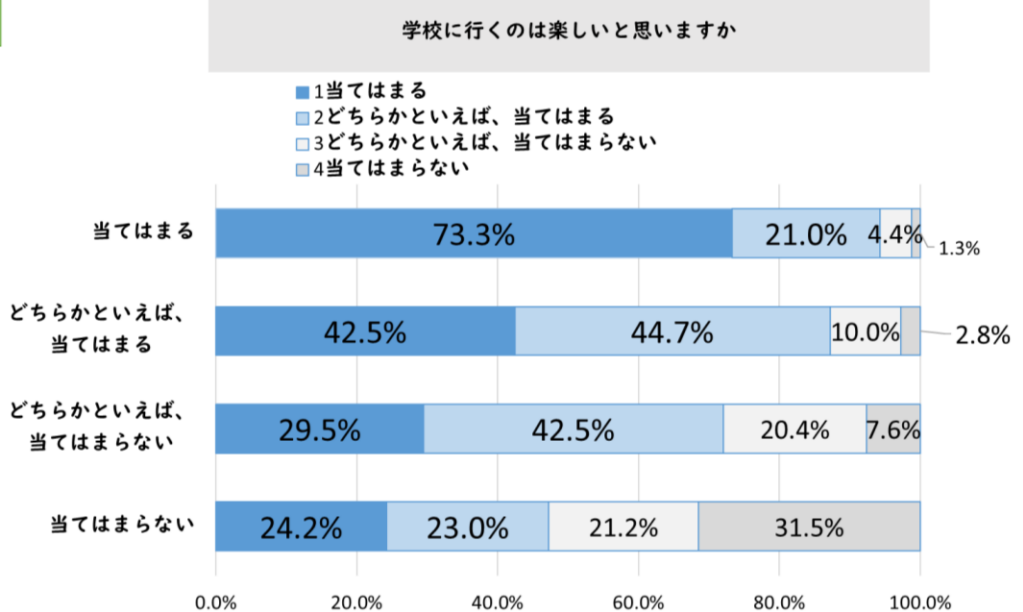
小学校

授業では、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていましたか



中学校

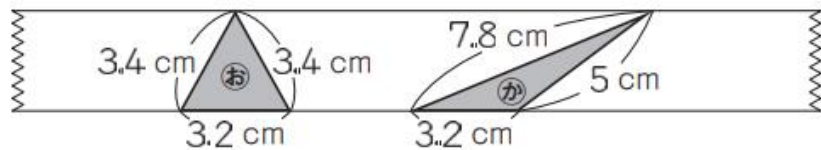
授業では、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていましたか



「自分にあつた授業」に関する設問と「学校に行くのが楽しい」に関する設問との間には相関が見られます。個別最適な学びが、児童生徒の幸福感等に良い影響を与えていると捉えています。

答え

えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような③と④の2つの三角形をつくります。



上の③と④の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ③の面積のほうが大きい。
- 2 ④の面積のほうが大きい。
- 3 ③と④の面積は等しい。
- 4 ③と④の面積は、このままでは比べることができない。



底辺はぴったり重なっているなので、同じ長さですね。



平行な直線にはさまれた三角形は、高さが等しくなりますね。



底辺と高さが何cmか分かりませんが、それぞれ等しいので、面積は全て等しくなりますね。

答えは、3

わけ 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。③と④の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。③と④の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、③と④の面積は等しいです。

